



# ラミネーター 保証書

## ジャムフリーラミネーター A3401JF

取扱説明書・保証書

品名	ジャムフリーラミネーター A3401JF
品番	GLMA3401JF-1B / GLMA3401JF-2B
保証期間	お買い上げから1年間

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき  
 無償修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または弊社へお申し出ください。

お客様	お名前
	住所
	電話番号

### 個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間  
 経過後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。  
 お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託をする  
 保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。  
 その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。

お買い上げ日	
--------	--

販売店	住所・電話番号
-----	---------



# はじめに

このたびは、GBC製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。本取扱説明書は必ず保管してください。

## 目次

ご使用上の注意	2	フィルム詰まりトラブル解消方法	13
内容物の確認	4	詰まったフィルムが完全に 排出されない場合	14
各部の名称と働き	5-6	お手入れ方法	14
ラミネート作業上の注意	7-9	こんなときは	15
ご使用前に	10	製品仕様	16
紙厚設定値 目安表	10	保証とアフターサービス 保証書	
操作方法	11-13		
オートシャットオフ機能	13		

## 安全上の注意・警告 表示の意味



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



行ってはならない内容を示しています。



行なわなければならない内容を示しています。

# ご使用上の注意



## 警告



危険ですので小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。

思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上部およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので注意してください。

高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・衣類が引き込まれないようにしてください。

万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動をさせて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。

感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。

火災、感電の恐れがあります。



ご自身で分解、改造、修理をしないでください。

感電や思わぬけがをする恐れがあります。



絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤を本体内部に噴射したり、エアゾールを紙投入口から噴射しないでください。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。

火災、感電の恐れがあります。



必ず商用電源（AC100Vの家庭用電源）に接続してください。タコ足配線はしないでください。



## ⚠ 注意



本機は紙類のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。

故障の原因となります。

OHPシート・カーボン紙・ノンカーボン紙・感熱紙・厚紙・通帳の表紙ポリ袋・布・ビニール・フィルムはラミネートに適しません。投入しないでください。



可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。

火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



本体の上に物を置かないでください。

本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取り出し口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。

火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。

火災、感電の恐れがあります。



清掃時にシンナー・ベンジン等の化学薬品は使用しないでください。

変色・変形・傷などの原因となります。



ご使用にならない時、移動する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は、必ずプラグ部を持って抜いてください。

火災、感電の恐れがあります。



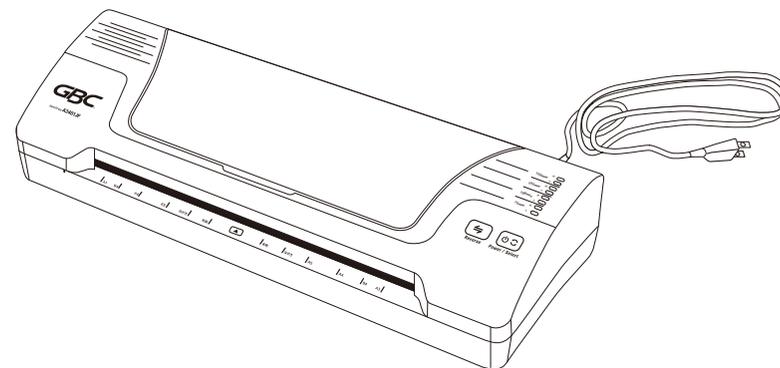
必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。

火災、感電の恐れがあります。

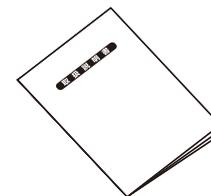
## 内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されています。

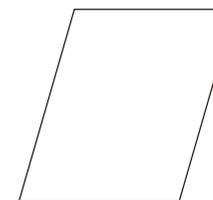
### ■ラミネーター本体



### ■取扱説明書(保証書付き)

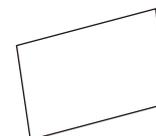


### ■クリーニングペーパー



※お手元に置いてご使用になることをお勧めします

### ■ラミネーター使用の注意書き



# 各部の名前とはたらき

【前面】

## フィルム取出口

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

## 主電源スイッチ

このボタンを押して、電源をオン(●)・オフ(○)します。使用しない場合は、必ずオフ(○)にしてください。

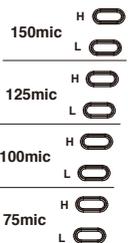
## フィルム挿入口

パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

## スイッチパネル

### 紙厚設定値ライト

P10の紙厚設定値 目安表を参照してください。



### Power/Selectボタン

Powerボタンを押すと75mic Lのライトが点滅し、電源が入ります。

フィルム・ラミネートするものに合わせて「POWER/Select」ボタンを操作して、紙厚設定値を設定してください。

ライトが点滅から点灯に変わるとラミネート可能なことを表します。

### Reverseボタン

意図的に逆転させる場合、Reverseボタンを押し続けている間は逆転し、ボタンを離すと正転に戻ります。



Reverse



Power / Select

【背面】

## 電源コード

必ずAC100Vのコンセントに接続してご使用をお願いします。また、タコ足配線は火災の原因になりますのでおやめください。

## サポートトレイ

使用する前に、サポートトレイを開いてください。

# ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。  
次のようなラミネートはおやめください。

## ラミネートするもの

- ・このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユボ等はラミネートしないでください。
- ・和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。
- ・可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。
- ・再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
- ・最大ラミネート厚より厚いものはラミネートしないでください。
- ・インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください

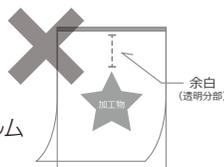
★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

## ラミネートするとき

**重要** ご使用になる前に必ずお読みください。

### フィルムを詰ませないために

**余白を作らない**  
(特にフィルム先端部)



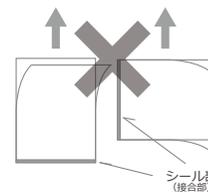
本体の温度は加工物がセットされている状態に合わせてある為、余白分部に対しては熱が伝わりすぎてしまいます。その結果、加工時に余白分部のフィルムが曲がり、詰まりの原因となります。  
**必ず加工物のサイズにあったフィルムをご使用ください。**

**フィルムをカットしない**



ラミネート加工は必ずシール部(接合部)から挿入する必要があるため、切り取ったフィルムを加工すると、本体内でフィルムがずれてしまい、詰まりの原因となります。  
フィルムより小さな物を加工する際は、「捨て紙を利用してラミネート」をご確認ください。

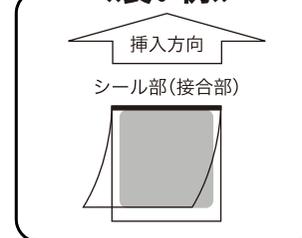
**向きを間違えない**



加工物のサイズ通りのフィルムを使用しても挿入する向きを誤ると、本体内でフィルムがずれてしまい、詰まりの原因となります。  
**必ずシール部(接合部)から挿入口へまっすぐに差し込んでください。**

- ・パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。

### 《良い例》

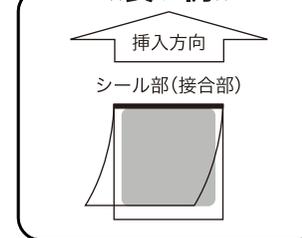


### 《悪い例》

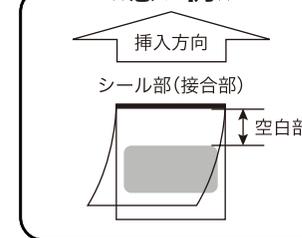


- ・パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。

### 《良い例》



### 《悪い例》

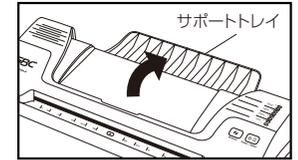


- ・加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。  
※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。  
※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。  
余白が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。  
※凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。

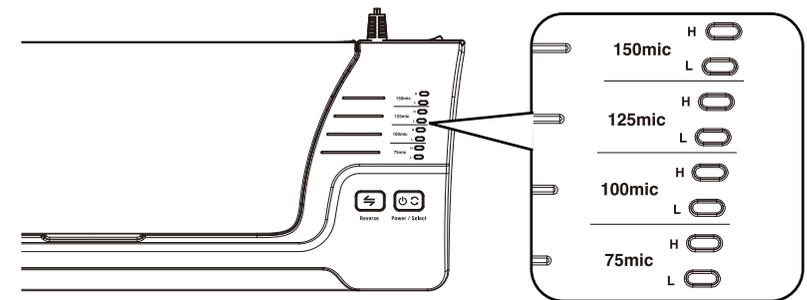
## ご使用方法

### ご使用の前に

サポートトレイを開いてください。



### 紙厚設定値 目安表

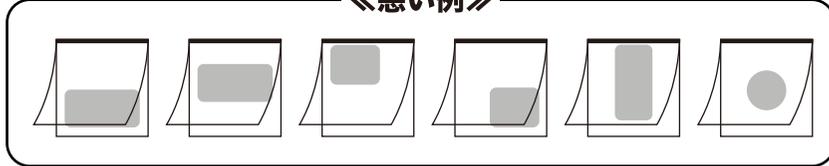


加工物	
H	はがき・カタログ用紙・写真
L	チラシ・コピー用紙

#### 《良い例》

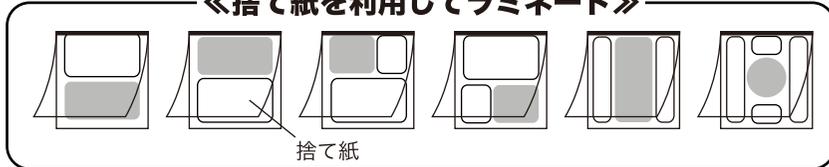


#### 《悪い例》



#### 対処法

#### 《捨て紙を利用してラミネート》



- ・ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。
- 捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。

#### 《良い例》

ラミネート後



#### 《悪い例》

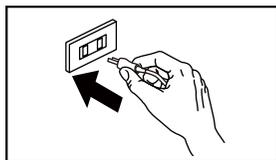
ラミネート前



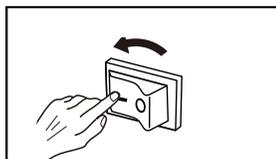
★違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

# 操作方法

**1** コンセント(AC100V)に差し込んでください。



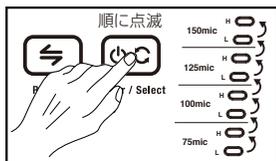
**2** マシン背面にある電源スイッチを「入(■)」にしてください。



**3** スイッチパネルの「POWER/Select」を、押してください。電源が入り75mic Lのライトが点滅します。

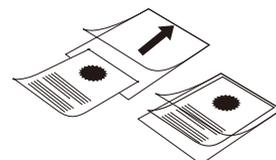


**4** 紙厚設定 目安表(P10)を参照の上、フィルム・ラミネートするものに合わせて「POWER/Select」ボタンを操作して、紙厚設定値を設定してください。ライトが点滅から点灯になるとラミネート可能なことを表します。



## 重要

ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



**5** フィルムガイドをサイズに合わせて、シールされた側からフィルムをガイドに沿ってフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



## 警告

⊘ マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

⊘ ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、「オフ」にして取り除いてください。

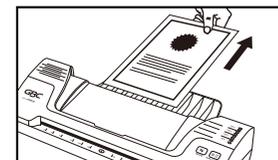
## 注意

⚠ 間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

**6** パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。



**7** ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。  
約1分間冷却して完了です。



## 連続ラミネートする場合

連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

**8** ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。  
(温度が高い状態の時に実施してください。)



- 9** ローラークリーニングが終了したら、「POWER/Selectボタン」を、3秒間押し続けてください。マシン冷却のためクーリングを開始します。クーリングが完了するまで、マシン背面にある主電源スイッチをオフ「O」にしないでください。



※クーリング時は、約3分間ライトが上から下に流れるように点滅します。但し、本体がラミネート可能な温度まで上がっていない場合は、クーリングは行わずそのまま電源が切れます。クーリング時はローラーが動いていますが、ラミネートはしないでください。

- 10** 約3分後、ローラーが止まってからマシン背面にある主電源スイッチをオフ「O」にしてください。また、安全のためにコンセントから電源プラグを抜いておいてください。



### ローラークリーニング

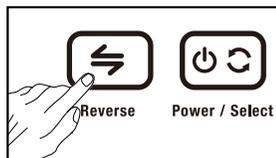
- ★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。
- ★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m<sup>2</sup>程度の厚さの用紙)を使用してください。
- ★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、必ず未使用の白紙を3枚以上を二つ折りにして折った方から入れてください。

## オートシャットオフ機能

電源が入ったまま約15分以上ご使用されない場合は、スタンバイ状態になり、電源オフ3分前はランプが上から下に流れるように点滅しつつ、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は、P11の項目⑨から操作を進めてください。

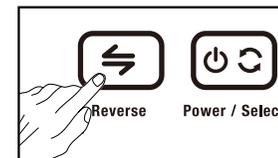
## フィルム詰まりトラブル解消方法

フィルム詰まりが発生した場合、「Reverseボタン」を押し続けてフィルムを投入口から排出してジャミングを解消します。



## 詰まったフィルムが完全に排出されない場合

- 1** 「Reverseボタン」押し続け、詰まったフィルムを手で引き戻してください。



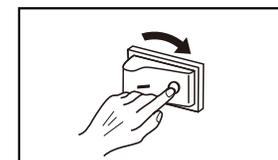
- 2** 詰まったフィルムが投入口から排出されたら、必ずローラーをクリーニングしてください。

※12ページの項目⑧からローラークリーニングの説明を参照してください。

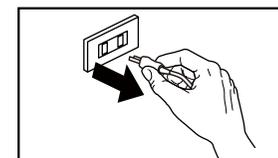


## お手入れ方法

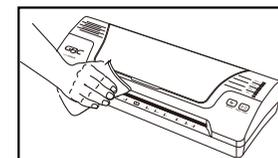
- 1** マシン背面にある主電源スイッチを「切(O)」にしてください。



- 2** 電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



- 3** やわらかい布でから拭きをしてください。  
※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



**警告** ⚠️ 自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。感電や思わぬけがをする恐れがあります。

**注意** ⚠️ 汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。  
※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

## こんな時は

### 電源が入らない

電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ …………… P11  
電源プラグを正しくコンセントに入れてください。

電源が入っていますか？ …………… P11  
電源スイッチをオン「I」に変わっていることを確認してください

### ホットラミネートができない

紙厚設定値ランプが点灯していますか？ …………… P10  
紙厚設定値ランプが“点灯”するまでお待ちください。

クーラーの冷気が直接当たっていませんか？ …………… P3  
クーラーなどの冷気から離してご使用ください。

### ラミネートフィルムがはがれる

紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？ …………… P7  
紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。

### ラミネートフィルム 表面が汚れる

ローラーのクリーニングをしていますか？ …………… P13  
同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。

### ラミネートフィルムが取出口から出てこない

フィルムを手で引き戻せますか？ …………… P14  
リバースボタンを押しながら、詰まったフィルムを投入口から引き戻してください。

## 製品仕様

製品名	ジャムフリーラミネーター A3401JF
品番	GLMA3401JF-1B / GLMA3401JF-2B
本体サイズ	幅:536 x 奥行:179 x 高さ:103 mm
質量	3.7kg
電源	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力	1400W
最大ラミネート幅	A3(320mm)
最大ラミネート厚	0.6mm
最大使用フィルム厚	150 $\mu$ m
ラミネート速度	~600mm/min(50Hz/60Hz)(75mic L設定時)
加熱方式	外部加熱方式
ウォームアップ時間	約1分

# 保証とアフターサービス

---

保証書は内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

販売店印及びお買い上げ年月日の記入の無いもの、または購入証明(レシート等)を確認できない場合は無効となりますのでご注意ください。

保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき無料修理または交換いたしますのでお買い求めの販売店、または弊社へお申し出ください。

(1)保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- ・ 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- ・ お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷
- ・ 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他外部要因による故障または損傷
- ・ 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷
- ・ 本書、または購入証明(レシート等)の提示が無い場合
- ・ 本書のお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

(2)本機は専門業者様の業務用途には適しません。

(3)ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社へご相談ください。

(4)本書は日本国内においてのみ有効です。

(5)本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

(6)補修用性能部品の保有期間は製造終了後5年間です。同等機種との交換により修理対応とさせて頂く場合もございます。

(7)製造終了後5年を超えますと、修理対応を終了いたします。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

---

## 修理やアフターサービスについてのお問い合わせ

 [jp.service@acco.com](mailto:jp.service@acco.com)

 **050-3785-6053**  
平日 9:00-17:20  
(12:00-13:00 を除く)

 **アコ・ブランドズ・ジャパン株式会社**  
www.accobrands.co.jp